



議会からのたより

議会の主な動き (令和2年11月～令和3年1月)

- 11月3日
令和2年度遠別町表彰式に
議長外議員3名出席
- 11月17日
第8回議会全員協議会開催
- 11月27日
第4回議会運営委員会開催
- 12月11日
第9回議会全員協議会開催
- 1月10日
令和3年遠別町成人式に議
長出席
- 1月12日
第1回議会報発行特別委員
会開催
- 1月27日
第2回議会報発行特別委員
会開催

第6回臨時会

11月5日の1日間を会期として開催し、報告2件、補正予算2件の合計4件の議案が提案され、原案のとおり可決し、閉会した。

報告

- ◆ 総務産業常任委員会町内所管事務調査報告について
- ◆ 文教厚生常任委員会町内所管事務調査報告について

主な補正予算

【一般会計】

- ◆ 特産品「北吹雪」販売支援事業補助金 75万円新規
- ◆ 学校給食センター冷暖房設備取替工事 520万円新規

第7回臨時会

11月27日の1日間を会期として開催し、損害賠償の額を定めることについて1件、条例改正2件、補正予算6件の合計9件の議案が提案され、原案のとおり可決し、閉会した。

行政報告

- ◆ 職員の不適正事務について
- ◆ レストランとんがりかんの無償譲渡について

審議事項

- ◆ 損害賠償の額を定めることについて
- ◆ 町長等の給与等に関する条例等の一部改正について

第8回定例会

12月11日から14日までの4日間を会期として開催し、同意1件、条例の制定1件、条例改正2件、補正予算7件、発議1件の合計12件の議案が提案され、原案のとおり可決し、会期を3日残して閉会した。一般質問は小森議員、山本議員の2名が行った。

行政報告

- ◆ 令和3年遠別町新年交礼会について
- ◆ 令和2年度第一次産業の生産状況について
- ◆ 令和2年度工事等の発注状況について

主な補正予算

- ◆ 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 【一般会計】
- ◆ 農業振興センター外壁補修工事支払い遅延に伴う損害賠償金 266万円新規

◆遠別農業高等学校国内研修の中止について

審議事項

- ◆固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ◆渋田誠氏（本町3）の選任について同意した。
- ◆議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
- ◆デマンドバス運行条例の一部改正について
- ◆後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆非常用ポータブル蓄電池 275万円削除
- ◆さわやかスポーツ祭り運営補助金 130万円削除
- 【国民健康保険特別会計】
- ◆市町村事務処理標準システム改修業務委託料 13万8千円新規
- 【後期高齢者医療特別会計】
- ◆後期高齢者システム改修業務委託料 60万8千円新規

町長・教育長からの行政報告（抜粋）



第7回臨時会

とんがりかんの無償譲渡

えんべつりゾート開発株式会社が所有しておりました「とんがりかん」につきまして、6月議会臨時会において無償譲渡並びに、今後の活用方法等について報告をさせていただきます。ところであります。が、10月6日付で同社より書面にて無償譲渡に関する申し出があり、11月12日無償譲渡契約を締結しましたので、報告いたします。なお、今後の手続きにつきまして、火災保険の加入、所有権移転に伴う登記を進めてまいります。補修などを含めた活用方法について、道の駅、富士見ヶ丘公園、さらに河

川公園を含めた中で一体的に考えていく必要があります。どのように活用するのが一番良いのか内部で検討し、町民の皆様、議員各位にお知恵をいただきますながら検討したいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いを申し上げます。



第8回定例会

遠別農業高校研修中止

9月議会定例会において、例年実施しております、遠別農業高等学校の海外研修を、新型コロナウイルス感染拡大により、国内研修に変更する旨の行政報告をさせていただきます。当初は、道外での研修を予定していましたが、

感染拡大により道外へ移動することが難しくなり、最終的には、道内で研修を探していたところですが、道内も感染リスクが高くなつたことと、さらに、生徒へのアンケート調査の結果、不安に思っている生徒も多いことから、これらを総合的に判断し、今年度の研修については、中止することを教育振興会及び学校から報告がありました。研修は、3年生にとつては学校生活の集大成であります。生徒の安全を考えると中止はやむを得ない判断であると思っております。教育振興会からは、海外研修を目的の一つとして入学した生徒もいることから、海外研修に代わるものとして、卒業するにあたり、何か記念品を生徒に贈りたいとの相談も受けておりますので、併せてご報告をさせていただきます。



町政を問う

第8回定例会「一般質問」

小森議員 問 ①スマート農業補助金の活用は／②乳幼児送迎バス運行について

笹川町長 答 ①何が必要か見極め考えていく／②保護者による送迎をお願いする



問① 笹川町政3期目の所信表明の中に「スマート農業の推進を図り、新規就農者や後継者の育成」とあった。農業の後継者不足が現実となっていく中、既存経営者の耕作面積の増加が進み、大型機械の導入などが進んでいるが、労働者不足の課題がある。本町でも、農協や農業者とともに課題解決の鍵となる先端技術を活用したスマート農業を「スマート農業加速化実証プロジェクト」を活用し、未来を見据えた農業に取り組むべきと考えるが、町長の考えは？

答① 本町においても高齢化が進み農業後継者不足が進む中、労働力不足の課題については理解しており、新規就農者の育成や基盤整備事業にも取り組

んでいる。しかし、農地の集積や作業受諾の増加により、1戸あたりの経営面積が増え、圃場整備や大区画化が思うように進んでいないことも、スマート農業推進について今後の課題である。

これからの遠別農業においても、スマート農業は、将来を見据えた取り組みとして必要不可欠であると考えており、農協や普及センター等の団体と連携しながら、水田、畑作、酪農について、将来どのようにすることが望ましいのか、農業者を始め、特にこれからの主役である若い担い手の意見を聞きながら取り組む必要があり、先進地の事例を参照し、理解を深めていくことが最初の取り組みと考えている。この取り組みを行い、農地集積を視野に入れた圃場の大区画化、基地局の整備、機器導入費用などの課題があるが、遠別の農業にとって何が必要なのか見極めながら「スマート農業加速化実証プロジェクト」など国

の事業等を活用し、これからの農業を考えていく必要がある。

問② 全国各地で運行されている送迎バスは、幼い心に豊かな思い出として残り保護者の送迎の負担軽減ができる。乳幼児の送迎バスの運行について取り組むべきではないか？

答② 送迎バスは、近くの保育園から遠距離にある保育園の利用を可能にするため、待機児童解消への効果が期待されていると聞いている。本町において、待機児童はいなく、保育園は一つしかない。送迎バス運行にあたっては、バスに添乗する保育士の確保など問題はあるが、一番の課題は、運行系統と時間とと思う。送迎の都合のよい時間が家庭によつて違い、現在の登園は、長時間保育の場合7時から9時まで。降園は、16時から18時までと時間の幅があり、保護者による送迎の方が自分達のペースで送迎できてよいのではな

いかと考えている。また、送迎バスを導入すると、送迎時の担当保育士と保護者とのコミュニケーションが少なくなり、園での子供の様子が見られず、担当保育士や他の保護者と話をする機会も減り、子供の園や家庭での状況、伝えておきたいことなど情報が少なくなることが考えられる。保護者とのコミュニケーションは、園児の健やかな成長を促すためにも、重要な保育士の業務だと考えている。町としては、登園及び降園は、保護者において送迎をお願いしたいと考えているので、ご理解いただきたい。



山本議員

問 ①市町村サミット開催し交流の拡充を／②成人式の開催について

笹川町長

答 ①現時点では考えていない／佐藤教育長

答 ②感染防止対策を徹底し開催予定



問① 各地の市町村では、相互の地域振興を図る狙いから連携を強めてきている。本町でも、福井県越前市、カナダのキャッスルガー市との交流、市町村連携モデル事業により5町村で連携して移住促進事業などを行っている。その他にも、移住・定住を促進する事業を実施しているが、思うような結果がでていない状況である。地域の活性化には、人口、交流の増加が重要になってきている。

笹川町政3期目の所信表明で、道の駅を中心に、富士見ヶ丘公園、河川公園と併せて、総合的な交流拠点とした整備と民間事業者等との連携協定などによる地域間交流による関係人口の創出に取り組むとのことであったが、交流人口を増やす方法として、道内で市町村名に「別」のつく市町村を調べたと

ころ、5市13町2村があり、その市町村に交流参加を呼びかけ、市町村サミットを開催し、特産品の販売などから徐々に交流の拡充を図ることはできないか？

答① 過疎地域において人口減少が進む中、本町も、姉妹都市交流や他市町村との連携、移住促進対策など様々な取り組みを行っているが、人口増加には、残念ながら至っていない。このような状況の中、人口減少対策は最優先すべき対策であると考えており、直接人口が増やせないのであれば、交流人口及び関係人口の増加対策に取り組むことも本町にとって有効な対策であると理解している。

議員から提案の対策も、一つの方法であるが、これまでも、道内及び首都圏に出向き、特産品の販売を含めた本町のPR活動を続け、イベントに参加している関係市町村との交流を深めており、現時点ではサミットの開催は考えていない。

今年度「道の駅えんべつ富士見」が完成し、多くの利用者が来ている状況で、大変喜ばしい

次第である。今後も、道の駅を中心に、情報発信やイベントの工夫、周辺施設を含めた交流人口対策を展開し、魅力ある遠別にきていただけるよう取り組んでいく。

また、サテライトオフィスやワーケーションなど、本町に滞在していただける対策も併せて進めていきたい。

問② 成人式について、コロナウイルス感染症拡大に伴い、各地で延期や中止の報道がされている。成人式は、人生の節目となる記念すべき式典である。本町では、毎年、成人の日の前日に開催しているが、令和3年の開催は？

また、2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられるが、その時の対応は？

答② 令和3年成人式については、現在、1月10日開催予定で準備を進めている。新型コロナウイルス感染症拡大により、成人式を中止または延期する自治体も少しずつ増えてきているが、本町においては、対象人数や会場等を考えた場合、密にならないよう来賓の縮小や保

護者等の制限をするとともに、式典内容を変更し、感染防止対策を徹底した上で開催することは可能であると判断している。今後感染状況がさらに悪化することも考えられ、今月中旬以降に開催の可否について、最終決定をしたい。

成人年齢の引き下げによる成人式の在り方については、18歳で成人式を開催すると、受験を控えた在学中の高校生も対象となるため、式典のタイミングが難しくなり、年齢改正された年は、3学年分が対象となることから、慎重な対応が必要である。18歳で成人式を行うか、または名称を変更し、今までどおり二十歳で式典を行うか、近隣市町村の状況等も確認した上で令和3年中に協議し、決定したいと考えている。



シリーズ

えんべつ町民 独占インタビュー

Vol.6

◎遠別町の住民をピックアップし、まちの印象や、行政、議会に対する思いなどをインタビューし、議会活動に役立ていきます。

「道の駅えんべつ富士見」の運営スタッフにスポットをあてました。

Q. 新型コロナウイルス感染症の影響は？

菊地支配人：集客的には大分落ちると思いましたが、予想以上に利用客が多く、10月ぐらいまでは思った以上の売上げ伸ばすことができました。冬場は利用客が少なくなるため赤字になると見ていますが、想定以上に夏場が良かったため、今年度は良い数字になると思います。



支配人 菊地 陽一 さん

Q. 地元の商品が完売する状況と耳にしますが？

菊地支配人：遠別産野菜や魚介類、製菓など特産物を買求める利用客が非常に多く、すぐに完売する状態で常に商品補充の電話をしていた状況です。町内の特産品で売上げの約6割を占め、えんべつコロッケも好調で昨年12月までに5,000個以上売れています。来年度以降、イベント等が再開された時に入荷できるか不安です。



特産品コーナー

Q. 道の駅の特徴は？

菊地支配人：オロロンラインの道の駅の中で寄りやすく、建物もゆったり休憩できるような構造になっているので、秋口から札幌 - 稚内間の観光バスの昼食利用が増えました。



えんべつコロッケ

Q. 今後イベント等の開催は？

菊地支配人：昨年はフリースペースのイベント利用が少なく、ビアガーデンなども考えていましたが、新型コロナでできなかった。コロナが早く収まれば夜の宴会などにも取り組みたい。

Q. 町に要望する事はありますか？

重松副支配人：幼児センターについて、土曜日は、12時までに迎えに行かなければならず、午前中までの仕事をしている人も、12時までに迎えに行かなければならないので、預けるにも預けられない。こういう所に勤めると、土日、祝日がメインの仕事になるので、お母さん世代が働くのは大変であります。以前中川町に居ましたが、幼児センターは日曜日、祝日は休みですが、土曜日は1日子供を預かってもらえました。遠別でもせめて土曜日にも1日預かってもらえると、お母さん世代がもっと働けるのではないかと思います。



副支配人 重松 芽衣 さん

～ 来シーズンに向けて ～

菊地支配人：遠別産の特産物を充実させたい。夏前から魚を扱っているが、町民の方をはじめ、天塩、幌延、初山別から買いに来ていただいている。道の駅として特産物の販売は町のPRを担う意味でも大切な役目の一つと思うので、特産物や遠別産の魚介や野菜を充実させたい。

重松副支配人：遠別産の魚で季節を感じてもらえるようにしたい。昨年は秋鮭の入荷が間に合わなかったため、来シーズンは春は魚、夏はホッキ、秋になれば秋鮭という感じで町民の方に来ていただき、ここに来たら必要なものが揃うと言っただけのような道の駅にしたい。

新しくなった遠別の顔として益々の活躍を期待したい。(文責：山下副委員長)

議員出席状況

令和2年11月1日～令和3年1月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等				特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤									
	開催 日数 ①	出席内容			欠席内容			総務 産業	文教 厚生	議 会 運 営	全 員 協 議 会	議 会 報 発 行	決 算 審 査	予 算 審 査	開 催 日 数 合 計 ①+③ ⑤	出 席 日 数 合 計 ②+④ ⑥		欠 席 日 数 合 計								
		全 日 出 席	遅 刻	早 退	出 席 日 数 計 ②	慶 弔	病 欠												そ の 他	出席内容				欠席内容		
																				全 日 出 席	遅 刻	早 退	出 席 計 ④	慶 弔	病 欠	そ の 他
西畑 広男	3	3			3							3				6	6		100.0%							
小森 嘉孝	3	3			3							5				8	8		100.0%							
白井 金治	3	3			3							4				7	7		100.0%							
柏谷 美春	3	3			3							3				6	6		100.0%							
木村 秀雄	3	3			3							2				5	5		100.0%							
千葉 光悦	3	2			2		1					2				5	4	1	80.0%							
大石 幸夫	3	3			3							2				5	5		100.0%							
山下 悟	3	3			3							4				7	7		100.0%							
山本 仁美	3	3			3							2		1		6	5	1	83.3%							

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**3月上旬**の開催予定です。

詳しくはテレビ電話でご確認ください。

【お問い合わせ】

議会事務局

電話 7-2147 (直通)

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp



タイトル写真



1月20日、インタビュー実施の際に道の駅運営スタッフの皆さんを撮影いたしました。

発行：遠別町議会

編集：議会報発行特別委員会

委員長 小森 嘉孝

副委員長 山下 悟

委員 白井 金治

あとがき (小森委員長)

コロナ感染症が始まって一年が過ぎた。北海道も昨年末に感染者が増加し、不要不急の外出制限により、経験のない生活を余儀なくされている。また、新型コロナウイルス変異株の感染拡大も脅威であり、私たちも今まで以上に感染予防対策に取り組み、ワクチンや治療薬により安心して過ごせる日々が一刻も早く訪れることを願っている。

